



開け、<sup>こうば</sup>工場！この秋、<sup>こうば</sup>燕三条の工場が、扉を開く。

2013年10月2日（水）～10月6日（日）までの5日間、新潟県燕三条地域の名だたる企業が一堂に工場を開放し、ものづくりの現場を見学・体験することができるイベント「燕三条 工場の祭典」を開催します。

工場は日々、様々なものが生まれる場であり、職人のものづくりにかける思いや、誇りが詰まっている場でもありません。普段は閉ざされた空間で、実際にものづくりを行なっている現場を見る機会はほとんどありませんが、イベント期間中のみ工場を開放し、ものづくりを見学・体験することができます。この機会に、職人の手仕事や各工場で開催されるワークショップを通して、普段では見学することができないものづくりの現場を体感して下さい。

燕三条は、新潟県のほぼ中央、信濃川流域に位置し、世界有数の高度な技術集積地として、ものづくりの伝統を有する地域です。また、豊かな自然に抱かれた燕三条は食の宝庫でもあり、ものづくり同様、丁寧に育て上げられた米や野菜、果物には、作り手のこだわりが注ぎ込まれています。

工場を見学してみたい方、ものづくりに興味のある方、職人と話してみたい方、そして、職人になりたい方など、多くの方々に楽しんでいただけるよう、職人が普段は閉じている工場の扉を開き、みなさまのお越しをお待ちしています。

|| 開催概要 ||

開催名. 「燕三条 工場の祭典」  
 開催期間. 10月2日(水) - 10月6日(日)  
 開催場所. 新潟県三条市・燕市全域  
 参加工場数. 54拠点 ※2013年8月19日時点  
 来場者見込. 20,000名  
 交通. JR東日本「燕三条駅」より、臨時バスを運行予定 ※便数に限りがあります  
 ホームページ. <http://kouba-fes.jp> ※9月開設予定  
 燕三条 工場の祭典公式facebook <https://www.facebook.com/koubafes>

主催・運営. 「燕三条 工場の祭典」 実行委員会  
 新潟県三条市旭町2-3-1 三条市役所経済部商工課内 TEL. 0256-34-5511  
 イベント全体監修. method <http://wearemethod.com/>  
 アートディレクション/デザイン. SPREAD <http://www.spread-web.jp/>  
 ブックレット編集. BACH <http://www.bach-inc.com/>  
 プレス. HOW INC <http://how-pr.co.jp/>

---

掲載・取材に関するお問い合わせ先  
 燕三条 工場の祭典 PR / HOW INC 担当:小池、相沢  
 TEL. 03-5414-6405 / FAX. 03-5414-6406 / EMAIL. [info@how-pr.co.jp](mailto:info@how-pr.co.jp)



### 黒の美意識。世界に誇る爪切りブランド 株式会社諏訪田製作所

1926年に喰切鍛冶として創業。50年に瓢箪型爪切りを開発してから現在に至るまで、切れ味と耐久性を追求した爪切りの開発を続け、国内はもとより海外でも高い評価を受けている。期間中は、栗の皮むき体験、バックヤードツアー、体験ネイルケア、ファクトリーコンサートとレセプションパーティーを行う。

10.2(水) - 6(日)



### キャンプもできるスノーピークの本社 株式会社スノーピーク

自然志向のライフスタイルを提案するアウトドア用品メーカー。1958年に金物問屋として創業した故山井幸雄が熱心なクライマーで、使い勝手が良く信頼性の高いクライミングギアの開発を始める。「徹底してユーザーの立場に立った開発とフィールドでの実証で磨かれる品質」という氏の精神を継承。期間中は、エコクラフトを実施する。

10.2(水) - 6(日)



ほうちよう

### 「庖丁工房タダフサ」を産んだ工場 株式会社タダフサ

1948年に曾根寅三郎が創業。曲尺で修業した鍛造技術を生かし、鎌、小刀、庖丁などあらゆる刃物を手掛けた。その後、漁業用刃物を経て、現在は家庭用刃物、本職用刃物、蕎麦切り庖丁などを製造。時代のニーズとユーザーの望みに答えて生まれる製品は数々の受賞を誇る。期間中は、包丁研ぎ直し体験と蕎麦打ち体験を行う。

10.2(水) - 10.6(日)



### 叩く音がこだまする、銅器の老舗 株式会社玉川堂

燕の金属産業の礎である鋳起（ついき）銅器の老舗。1816年の創業以来300人以上の鋳起職人を輩出。1枚の銅板から職人の手でひとつずつ打ち出される銅器は、使うほど手に馴染み、味わいある光沢を帯びる。全国の百貨店での実演販売を通じてファンも多い。建物は登録有形文化財。期間中は、鋳起銅器のぐい呑製作体験を行う。

10.2(水) - 10.6(日)

|| 工場情報 || ※一部抜粋



くわかじ  
とりわけ豪快な鋤鍛冶の現場を体感  
株式会社相田合同工場

鋤手づくりマイスターを自負して頑なに手づくりにこだわる職人が、丹念に鋼を鍛え上げ日本風土に合う本物の農具をつくり続ける。道具がユーザーの農作業を助け、親から子へ長く愛用されることを願い、伝統の技に磨きをかけ、時代のニーズに応える新たな農具も提案する。期間中は、家庭菜園ツールマイスター講座を開催。

10.2(水) - 10.6(日)



わばさみ  
全行程をひとりで仕上げる和鋏職人の技  
進光鋏製作所

57年以上に渡って握り鋏を製造。鍛造から成形まで全てひとりの手作業でこなす職人は全国で5人にも満たない。三条市唯一の職人がつくる握り鋏には、守町（刃先の鋭いもの）、長刃（布の裁断用）、剣型（手芸ニット用）、網切（網の修理用）等があり、プロにも愛用されている。期間中は、鍛冶町内のまちあるきを行う。

10.4(金), 10.5(土)

|| 催事情報 || ※一部抜粋



年一回、燕の金属製品が大盤振る舞い  
燕青空即売会

ナイフ、フォーク、スプーンなどの金属洋食器をはじめ、鍋、フライパン、包丁などの台所用品や家庭雑貨、伝統工芸品として有名な茶筒、茶たく、水差し等の鋳起銅器製品が、時価の2割～5割引で販売されます。

10.6(日)



起源は永禄12年。歴史ある地元の朝市  
六斎市『二・七の市』

1569年に上杉謙信が越後国内の市を整備した際、三条市の開催日が定められたとされ、長い歴史と伝統を誇る六斎市。毎月2と7のつく日に開催され、地元で採れた新鮮野菜から三条名物車麩やぼっぼ焼きなど、多種多様なものが手に入ります。

10.2(水)